

2010-2011 年度 米山記念奨学委員会

カウンセラー補佐 松下 光春(泉南)

委員長 京谷 知明(堺フェニックス)

委員 西村 元秀(堺泉ヶ丘) 谷野 一彦(羽衣) 塩路 良一(御坊)

【活動基本方針】

(財)ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として奨学金を支給し支援する、事業規模と採用数において日本の民間最大の奨学団体です。1952年に“日本ロータリーの父”米山梅吉氏の遺徳を記念して、東京ロータリー・クラブが、ロータリーの理想とする国際理解と相互理解に努め国際親善と交流を深めるために、優秀な留学生を支援し世界平和の創造と維持に貢献することを目的とした「米山基金」の構想を立て、日本で学ぶ外国人留学生を支援する国際奨学事業を始めました。やがてそれは、日本全国のロータリー・クラブの共同事業となり、現在では日本ロータリー独自の「**多地区合同奉仕活動**」となっています。次年度は、「地域を育み大陸をつなぐ」ようロータリーとの出会いが米山奨学生に与える大きな影響力を考え、米山奨学生とロータリアンの接点を今まで以上に増やすように活動計画をいたしました。

【活動計画】

7月8月9月と地区の推薦大学を回り、一国に偏らない奨学生推薦をお願いいたします。10月には上海博覧会にあわせて2640地区の米山学友生が上海大学で上海シンポジウムを開催します。2640地区のロータリアンの参加を募り支援します。11月の堺地区大会では米山奨学会のホームカミング制度を利用しパネルディスカッションを企画しています。友愛の広場に米山学友生が集いたいと考えています。10月・11月には例年に引き続き地元高校で教育委員会と連携して、社会貢献活動として国際色豊かな授業をいたします。

1月に次年度の奨学生の選考会を開催します。一国に偏らないように配慮して選考をさらに厳しく3段階方式で進めます。3月には米山奨学期間終了者歓送会を開催し、カウンセラーの皆様には感謝状を贈呈いたします。新規の奨学生は4月にオリエンテーションに全員参加をよびかけます。

寄附増進についてはIM単位での部門別会議でお願いしたいと考えています。各小委員会の委員長と連携を取り充実した活動が出来るように努めます。